

平成14年11月8日

各位

会社名 株式会社フジユニバース
代表者名 取締役社長 鈴木 一和雄
(コード番号7254 東証第二部)
問合せ先 取締役 村木 勝一
(TEL: 053-576-1311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年5月28日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 15年3月期中間業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

【単体】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年5月28日発表)	19,000	270	60
今回修正予想(B)	21,000	320	75
増減額(B-A)	2,000	50	15
増減率	10.5	18.5	25.0
前期(平成14年9月中間期)実績	19,420	192	154

2. 15年3月期連結中間業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

【連結】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年5月28日発表)	20,300	360	120
今回修正予想(B)	22,500	600	290
増減額(B-A)	2,200	240	170
増減率	10.8	66.7	141.7
前期(平成14年9月中間期)実績	20,896	190	127

3. 修正の理由

(1) 単体中間業績予想の修正

当中間期の売上高は、日産自動車(株)の新車投入による生産増と北米輸出が好調だった為、当初予想を上回る21,000百万円となる見込みであります。

経常利益は、売上高の増加により、320百万円と当初予想に比べ増益となる見込みであります。

当期純利益につきましても、経常利益の影響を受け75百万円と当初予想を上回る見込みであります。

(2) 連結中間業績予想の修正

当中間期の連結売上高は、主に連結財務諸表提出会社(当社)とアメリカ子会社の売上高増加により、当初予想を上回る22,500百万円となる見込みであります。

連結経常利益は、連結財務諸表提出会社(当社)の増益要因もありますが、主にアメリカ子会社の売上高増加による利益増とインドネシア子会社における円貨建て借入金に対する為替差益により600百万円と当初予想に比べ増益となる見込みであります。

連結当期純利益につきましては、経常利益の影響を受け当初予想を上回る290百万円となる見込みであります。

(注) 通期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)の業績予想の修正につきましては、中間決算発表時に公表いたします。